

CLIPPEDIMAGE= JP407252499A

PAT-NO: JP407252499A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07252499 A

TITLE: LUSTER-PROTECTING WAX FOR AUTOMOTIVE BODY AND METHOD FOR
SIMULTANEOUSLY
ACCOMPLISHING OIL FILM REMOVAL FROM AND WATER-REPELLENT COATING
ON WINDSHIELD
BY WIPING CLOTH

PUBN-DATE: October 3, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAYASHI, TAKAATSU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HAYASHI TAKAATSU

N/A

APPL-NO: JP06085209

APPL-DATE: March 16, 1994

INT-CL_(IPC): C11D017/00 ; B08B003/08 ; C09G001/08 ; C09K003/18 ; B60S001/02
; B60S003/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the subject wax capable of giving lustrous automotive body by a simple work and of easily removing the oil film on windshield on rainy days, by emulsification following mixing an orange oil, fluorine-based oil, silicone oil, lubricant, water repellent, lustering lubricant, antistatic agent, surfactant, etc.

CONSTITUTION: This luster-protective wax for automotive body can be obtained by emulsification following mixing an orange oil, fluorine-based oil, silicone oil, lubricant, water repellent, lustering lubricant, antistatic agent, antibacterial agent, antifungal agent and surfactant under agitation. This wax is capable of easily removing the oil film on windshield in a single actuation of a wiper and of giving lustrous automotive body by such a simple work as to merely wipe automotive body, glazing, mirror, plated parts, plastic parts, car interior and instrument board surfaces, handle, tire wheels, etc., with a tightly squeezed towel with a small amount thereof.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-252499

(43) 公開日 平成7年(1995)10月3日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 1 1 D 17/00				
B 0 8 B 3/08		A 2119-3B		
C 0 9 G 1/08				
C 0 9 K 3/18	1 0 4			
// B 6 0 S 1/02	Z			

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 3 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平6-85209

(22) 出願日 平成6年(1994)3月16日

(71) 出願人 594070003

林 隆温

大阪市平野区加美北3丁目9番21号

(72) 発明者 林 隆温

大阪市平野区加美北3丁目9番21号

(54) 【発明の名称】 自動車のボディー光沢保護ワックスとフロントガラスの油膜除去及びフロントガラス撥水コーティングを同時に水拭きする方法

(57) 【要約】

【目的】 (1) 発明した液体は堅く絞った濡れタオルに少量(普通車1台で10ml)つけて拭きますと、ボディーは光り輝き塗装を保護しますと同時に、フロントガラスは撥水して見やすくなり視界スッキリします。

(2) 発明の液体は自動車のボディー、ガラス、鏡、メッキ部分、プラスチック、車内及びボード計器面、ハンドル、タイヤホイール等車全体を水拭きするだけの簡単な作業(約10分程)でできる特長を有します。

(3) 従来品は場所によって使い分けしたり、ぬったり磨いて拭き取る苦勞から開放、雨の日に前が見にくい苦勞、悩みから開放しました。

(4) 楽で簡単な作業でできて、しかも効果は従来品に負けない美しい仕上り、超光沢、スベリ、撥水性、見やすくなる保護剤を開発することを目的としました。

【構成】 オレンジ油、フッソ油、シリコーン油、潤滑剤、撥水剤、光沢油剤、静電気防止剤、防菌剤、防カビ剤、界面活性剤を混合攪拌して乳化したものであります。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車ボディの光沢保護ワックス

【請求項2】 フロントガラスの油膜除去

【請求項3】 フロントガラスの撥水コーティング

【請求項4】 メッキ部分、プラスチック部分、ビニール部分、レザー部分の光沢保護

【請求項5】 前記請求項1、2、3、4、の作業を同時に濡れタオルを固くしぼって拭くだけでできるワックスコーティング剤

【発明の詳細な説明】

(1) 光り輝くボディと雨の日の油膜の見にくい害を、見やすく変化させるワックス、この2つの働きを同時に簡単に行うことができる。

(2) 発明の液をボンネットに1吹き、屋根に1吹き、ドアに1吹き、ガラスに1吹きして濡れタオルを固くしぼって拭くだけで、乾くと光り輝く被膜が車全体を保護する。

(3) 水洗いした車は濡れたボディガラスに同じく1吹きして水気を拭き取るだけで乾くと光り輝く被膜が車全体を保護する。

(4) 拭き取るだけの簡単な作業で光沢、つや、輝きは最高級であり、フロントガラスの油膜も変化させて見やすくして、水を玉状にしてワイパー1振りで視界スッキリ、走れば飛び散る。作業に長い時間がかかる。この苦勞を除去して、なおかつ雨の日は油膜で前が見にくいという運転者の苦勞を除去して交通安全、事故防止に挙するワックスである。

【従来技術】

(1) ワックスは固形、練り、液体に係わらず、ボディにぬって拭き取るものである。その為に使う時間と労力は長きを要する。

(2) ワックスはボディに限定されていてガラス面には使えないワックスの被膜がガラスに付くと大変見にくい膜となり安全を害する。

(3) フロントガラスを見やすくするものにはガラス面をまず洗って拭き取ってから見やすくするコーティング剤をむらなくぬり重ねる作業を必要とする。これもガラス面のみであり、ボディその他の部分には使用できない。

(4) ガラスの内側には使えない、使わないでくださいとされている。

(5) ガラスの内側、車内にはタバコのニコチンその他の汚れがあり拭き取っても膜がねたつくために、ガラスクリーナー等を使っている。

(6) ボディにはワックス ガラスにはガラスクリーナー フロントガラスにはガラスコーティング剤、油膜取り、ウィンドウォッシャー液等を使い分けている。

(7) 以上の通り従来品は、車を美しくするためには長時間を必要とする。又労力も大変かかるのである。用途によって使う処が違うので、使い分けを必要とする。

(8) そのために時間と労力がかかるため、何カ月も持続しますとしたものが主力になっている。

(9) 長時間かけて磨いても、雨が降れば汚れる、夜露がかかれば汚れる、走れば汚れる、油膜は付く、とこれは防ぎようがない。

(10) 上記の汚れは水洗いするか拭き取るのである。

【発明が解決しようとする課題】

(1) 水洗いして拭き取る作業に、スプレーでボディに1吹き、屋根に1吹き、ドアにガラスに1吹きしてタオルを固くしぼって拭き取るだけで、乾くと光り輝く被膜が車全体を保護する。

(2) フロントガラスの油膜も除去して見やすくする。ワイパー1振り視界スッキリである。

(3) 車が光り輝く美しい仕上がりだけでなく、雨の日に前が見やすいということは、交通安全、事故防止に挙するものである。

【実施例】

(1) 昭和44年(1969)大阪市交通局市バス運転手としてワンマンカーに乗務していた頃、バスは10mの大型であり、ボディ窓ガラスの手入れに大変な時間と労力を要したのであるこれを簡単に美しくするワックスを研究開発して今日まで使って来た。楽できれいになるというファンが大勢いましたが、フロントガラスの油膜を無くすることができずにいたのであります。

(2) この度、油膜を除去して前を見やすくすることに成功致しました。今日までA社ガソリンスタンド数ヶ所において色々の車種、何百台もの車でテストを繰り返し大変な人気で、液体ワックスを待っておられます。美しいだけでなく雨の日に前が見やすいと喜ばれております。

【課題を解決するための手段】

(1) 光沢を有する油脂を温度及び時間による変化を与え、すべりを有する油脂とで更に変化させ、撥水性を有する油脂とで変化させ乳化したもの出ある。

【作用】

(1) 油脂の持つ油膜のギラツキ、見にくい油膜を変化させることにより、ギラツかない、ねたつかない透明の見やすい油状に変化した。

(2) 変化した油状がボディの塗装面を光り輝く膜となって保護する。

(3) 変化した油状がガラス面を美しく仕上げて膜となって水を玉状にする。雨が降れば降るほど、玉になって落ちる。走れば飛び散る。

(4) ワイパー1振りで水玉は飛び散り、視界スッキリとなる。

(5) メッキ部分、プラスチック部分は光り輝き膜が保護する

(6) 変化した油状は汚れをも防ぐ作用もする。

(7) 油状膜は拭きむらがなく簡単で楽に作業できる

(3)

特開平7-252499

3

4

特性がある

(8) 光り輝く膜、ガラス面を見やすくする膜は、雨にも強く乾けば持続する。

【発明の効果】以上説明したようにボディ・ガラス・メッキ・プラスチック 車全体をいとも簡単な作業によ

って光り輝くボディと、雨の日は、ワイパー1振りで見やすくする。美しいだけでなく雨の日の運転者の見にくい苦勞を見やすいものに変化させる。雨の日 見やすいということは、運転者が早く人の影に気づき、交通の安全、事故防止に挙する効果を有する。

フロントページの続き

(51)Int. Cl. 6

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 S 3/00